

子育て支援セミナー プログラム作りの手引き

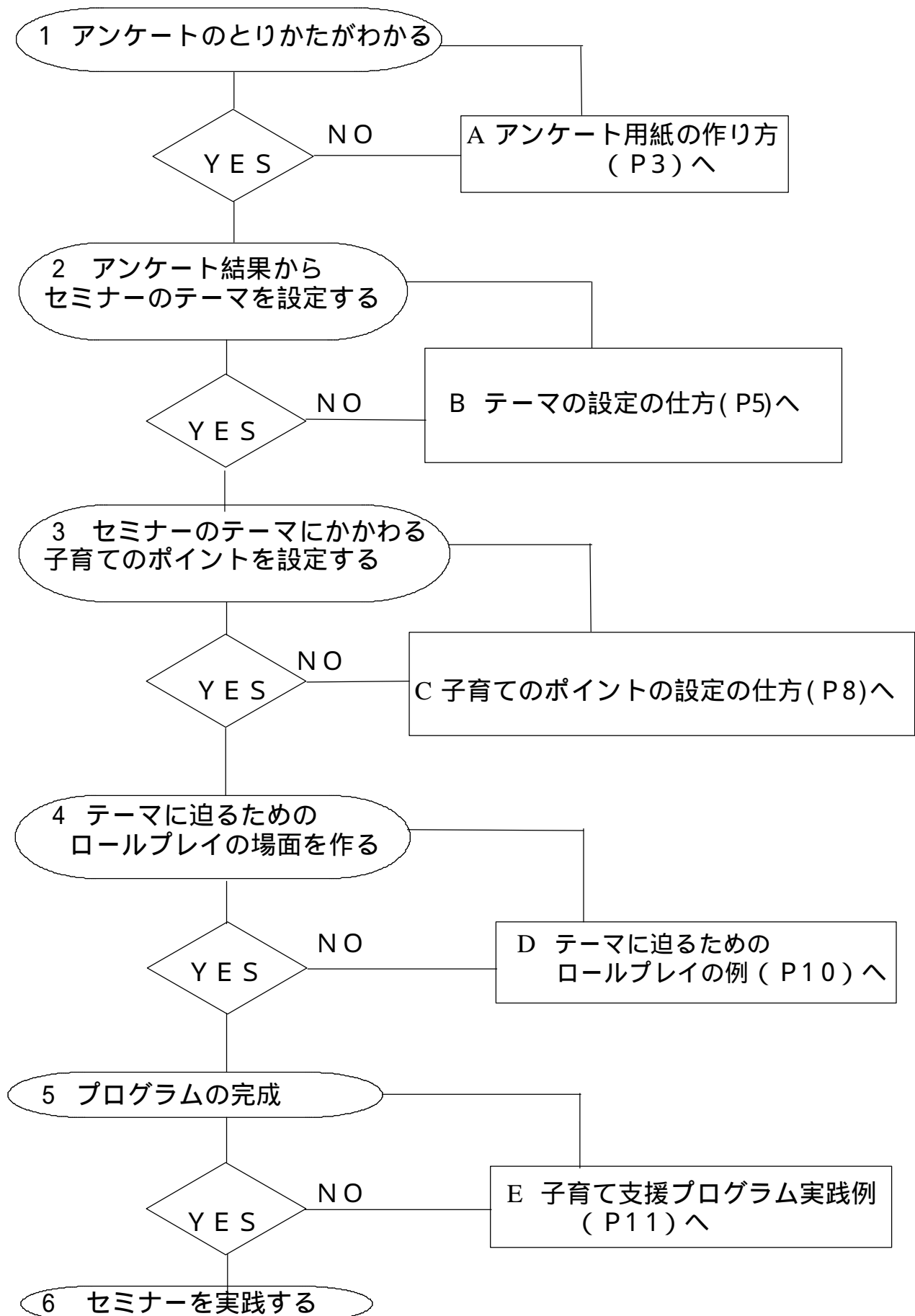
保護者の願いに添った懇談会を、
気軽に企画できるように、プログラム
作りに役立つ手引きを作成しました。

保護者の子育ての願いを、子どもの
発達課題に照らし合わせ、保護者がど
んな課題をもっているか理解するのに
役立ちます。

次ページのフローチャートに
沿って、プログラムを作って
みましょう！



子育て支援セミナー プログラム作りの流れ



A アンケート用紙の作り方

セミナーで話し合ってみたいことを自由記述する欄を設ける。保護者の子育てに対する意識の理解ができ、保護者の願いに添ったセミナーの基盤となる。

大勢の保護者が「参加したい」と思えるようなPRを工夫する。

例 気軽に参加できるような場をアピールする。

他校で実施したセミナー参加者の感想を一部分載せる。(12ページの【F 保護者の感想】へ)

子育てにかかわっているのは母親だけではないので、子どもの周りの様々な立場の人に参加を呼びかけるとよい。

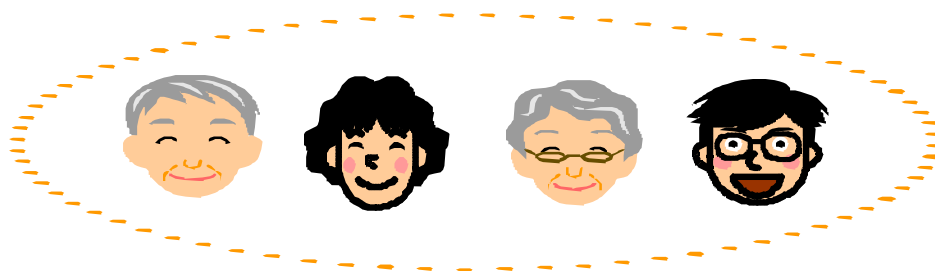
例 実際に、祖母や父親もセミナーに参加しています。

子育てに熱心な保護者、子育てに十分時間をかけられない保護者、その中間の保護者がいるが、いずれの保護者にも参加したいと思わせるPRを工夫する。

学年や学級単位でセミナーを行う場合は、あらためて学校に出てこなければならぬ日を避けた方が、保護者から喜ばれる。

例 授業参観後の懇談会に行く。

※ さらに詳しく知りたい時は、4ページの【A-1 事前アンケートの例】へ



A-1 事前アンケートの例

学年の保護者の皆さんへ

学年担任一同

学年合同懇談会（子育て支援セミナー）のお知らせ



日常の子育てを振り返り、
お子さんへのかかわり方を一緒に考えてみませんか。



早いもので今学期もあと1ヶ月を残すのみとなりました。保護者の皆さんも多忙な毎日を送られていることでしょう。

先日、学校だよりでお知らせした通り、学年保護者会を 月 日（曜日）に行います。つきましては、例年通り、授業参観後に学級懇談会を実施しますが、今学期は少し趣向を変え、学年合同懇談会とし、「子育てについてのセミナー」形式で行いたいと思います。

大勢の保護者の皆さんに参加していただき、子育てについて一緒に学びたいと思います。

月 日	月 日	曜日
授業参観	: ~ :	
	(場所は教室)	
学年懇談会	: ~ :	
	(場所は会議室)	

子育て支援セミナーについて

- ・和やかな雰囲気で行われます。お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん...どなたでも気軽に参加できます。
- ・セミナーのテーマは、保護者の皆さんのご要望に合わせて決めさせていただきます。下記の簡単なアンケートにお答え下さい。

..... 切り取り線

年 () 組 児童名 ()

- ・このセミナー（学年懇談会）への参加について、をつけて下さい。
（「参加できない」に をつけた方も、当日都合がございましたら、ぜひ参加して下さい。）

参加できる

参加できない

- ・このセミナーで、子育てについてどんなことを話し合ってみたいと思いますか？
参加、不参加にかかわらず、ぜひご意見下さい。

切り取り線から下を 月 日（曜日）までに 担任へ提出してください。

B 子どもの発達段階に応じたテーマ設定の仕方

- ① アンケート結果を、仲間分けする。
わからない時は、6ページの【B-1「アンケート結果」から「セミナーのテーマ」を導き出すためのチェックシート】の「親の思い・悩み・不安」の項目の中から、同じような項目を見つける。

例 「素直な育て方を教えてほしい」 「・素直じゃなく親の思い通りに動かない。」

仲間分けしたアンケートの内容から、保護者はどんな力を身につけさせたいと思っているか考える。

わからない時は、6ページの、「親の思い・悩み・不安」の項目から ➡マークにしたがって、「子どもに身につけさせたい力」をチェックする。

例 「・素直じゃなく親の思い通りに動かない。」 「・独りでもやろうと思ったことをする。」

保護者の願い（子どもに身につけさせたい力）から、セミナーのテーマを決定する。

わからない時は、「子どもに身につけさせたい力」の右側の「テーマになること」の欄を見て、セミナーのテーマを決める。

一つのテーマに集約できない場合は、テーマを二つの観点で設定してみる。

例 「独りでもやろうと思ったことをする。」 「やればできるという自信を育てる」
又は「自主性の発達」

※ さらに詳しく知りたい時は、7ページの【B-2 テーマの設定の仕方の例】へ



B-1 「アンケート結果」から「セミナーのテーマ」を導くチェックシート

親の願い・悩み・不安（アンケート結果）	子どもに身につけさせたい力	テーマになること	
<ul style="list-style-type: none"> ・将来なりたいものがみつからない。 ・進路がはっきりしないことが気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来に夢を持つ。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・劣等感が深刻になって心配。 ・やけになることが多くて困っている。 ・不安定に見えることがあって心配。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を大切にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> → 自己理解を深める。 	（自我の確立）
<ul style="list-style-type: none"> ・机をたたいたり物にあたる。 ・親に反抗して困る。 ・反抗する子にどう接するか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欲求やストレスを解消する方法を知る。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・成人向け雑誌を隠して持っていたのを見つけて困った。 ・異性を気にし過ぎて他のことがおろそかになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異性に対して健全な関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> → 性的成熟を促す。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の容姿を気にし過ぎる。 ・自己嫌悪感が強くなる。 ・性のことをどう話すか。 ・体の変化が大きく戸惑う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の性を受け入れる。 		（社会性の基礎の確立）
<ul style="list-style-type: none"> ・育成会のリーダーを自覚した行動がとれない。 ・年下の子どもの面倒を見られるようにさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢集団の中でリーダーシップをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> → 社会的スキルを伸ばす。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・場に応じた言葉や行動をとらせたい。 ・敬語を含めきちんとした行動をとらせたい。 ・言葉遣いの乱れが気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時と場所と目的を意識した行動がとれる。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・仲良しグループに入れない。 ・仲間はずれにされて心配。 ・友達とのいざこざを知った時どう対処したらいいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との緊密な関係が作れる。 	<ul style="list-style-type: none"> → 友達に対する信頼感や絆を育む。 	（自主性の発達）
<ul style="list-style-type: none"> ・友達を思いやる心を育てるにはどうしたらいいか。 ・友達への不満をよく言うのが気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよさを認め、尊重して交際ができる。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをする時間などのきまりごとを守らせたい。 ・お小遣いをどうするか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やらなければならないことをするために自分の欲求を抑える。 	<ul style="list-style-type: none"> → やるべきことに進んで取り組む気持ちを育てる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・勉強を言わなくても始めるにはどうするか。 ・家庭内の仕事をさせるにはどうしたらいいか。 ・自主性、やる気を伸ばすにはどうしたらいいか。 ・自分でできるようになるにはどう見守るのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強や家庭内の仕事を自分からする。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに自信をもたせるにはどうしたらいいか。 ・どうしたら積極的に行動できるか。 ・思っているけど実行しないのをどうしたらいいか。 ・素直じゃなく親の思い通りに動かない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・独りでもやろうと思ったことをする。 	<ul style="list-style-type: none"> → やればできるという自信を育てる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・友達をつくるにはどうすればいいの。 ・クラスになじむにはどうしたらいいか。 ・友達とのつきあい方がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親しい友達を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> → 仲間と群れて遊ぶ楽しさを育む。 	（自主性のめばえ）
<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士遊びに行かないのが気になる。 ・友達と遊ばないでゲームばかりしているのが気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャングエイジの遊びをする。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・宿題を約束通りにどうさせるか。 ・できなかったときにどう注意するか。 ・家の中の決めたこと（役割）をどう続けさせるか。 ・登校時刻や宿題など学校の決まりや約束をどうしたら守れるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題や決めたことをきちんと取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> → やりたくなくてもやらなければならない気持ちを育てる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもてるようにするにはどうしたらいいか。 ・好きなことがはっきりしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持ったことがやれる。 	<ul style="list-style-type: none"> → 自分らしく頑張る大切さを育てる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・言葉で自分の意思を言えるようにするにはどうしたらいいか。 ・人前で発言できるようにするにはどうすればいいか。 ・元氣よくあいさつをするのが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもって言葉で伝える。 		

B-2 テーマ設定の仕方の例

アンケート結果

女の子ですが、これから生理を迎える時期になりますが、子どもにわかりやすく正しく説明をしてあげたいのと、不安や心配などを話し合いたいです。

反抗期の子どもとのかかわり方...どこまで親としてかかわればよいか。

最近イライラしていることがよくあり、手に負えないで困っています。

せっかく自立してきたと思ったのに、不安定なので心配です。

「アンケート結果」から「セミナーのテーマ」を導くチェックシート

親の願い・悩み・不安(アンケート結果)	子どもに身につけさせたい力	テーマになること
<ul style="list-style-type: none"> ・将来なりたいものがみつからない。 ・進路がはっきりしないことが気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来に夢を持つ。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・劣等感が深刻になって心配。 ・やばいなることが多くて困っている。 ・不安定に見えることがあって心配。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を大切にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を深める。
<ul style="list-style-type: none"> ・机をたたいたり物にあたる。 ・親に反抗して困る。 ・反抗する子にどう接するか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欲求やストレスを解消する方法を知る。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・成人向け雑誌を隠して持っていたのを見つけて困った。 ・異性を気にし過ぎて他のことがあるそかになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異性に対して健全な関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・性的成熟を促す。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の容姿を気にし過ぎる。 ・自己嫌悪感が強くなる。 ・性のことをどう話すか。 ・体の変化が大きく戸惑う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の性を受け入れる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・育成会のリーダーを自覚した行動がとれない。 ・年下の子どもの面倒を見られるようにさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢集団の中でリーダーシップをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的スキルを伸ばす。
<ul style="list-style-type: none"> ・場に応じた言葉や行動をとらせたい。 ・敬語を含めきちんとした行動をとらせたい。 ・言葉遣いが乱れが気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時と場所と目的を意識した行動がとれる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・仲良しグループに入れない。 ・仲間はずれにされて心配。 ・友達とのいさかいを知った時どう対処したらいいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との緊密な関係が作れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達に対する信頼感や絆を育む。
<ul style="list-style-type: none"> ・友達を思いやる心を育てるにはどうしたらいいか。 ・友達への不満をよく言うのが気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよさを認め、尊重して交際ができる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをする時間などのきまりごとを守らせたい。 ・お小遣いをどうするか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やらなければならないことをするために自分の欲求を抑える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やるべきことに進んで取り組む気持ちを育てる。
<ul style="list-style-type: none"> ・勉強を言わなくても始めるにはどうするか。 ・家庭内の仕事をさせるにはどうしたらいいか。 ・自主性、やる気を伸ばすにはどうしたらいいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強や家庭内の仕事を自分からする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもてるようにするにはどうしたらいいか。 ・好きなことがはっきりしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持ったことがやれる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・言葉で自分の意思を言えるようにするにはどうしたらいいか。 ・人前で発言できるようにするにはどうすればいいか。 ・元気よくあいさつをするのが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもって言葉で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく頑張る大切さを育てる。

C 子育てのポイントの設定の仕方

設定したセミナーのテーマを、9ページの【C-1「セミナーのテーマ」から「テーマにかかわる子育てのポイント」を導くチェックシート】の「テーマになること」の欄に当てはめてみる。

例 「自信の育て方」をテーマにしたい 「やればできるという自信を育てる」又は「自主性の発達」

チェックされた項目に対応する「子育てのポイント（親のかかわり方）」の欄の項目を見て、セミナーで保護者と話し合う時のヒントにする。

子育てのポイント

例 「やればできるという自信を育てる」

失敗しても責めない。
やり方を教える。
できたら認める。
やろうとした気持ちを認める。



C-1 「セミナーのテーマ」から「テーマにかかわる子育てのポイント」を導くチェックシート

テーマになること			子育てのポイント (親のかかわり方)
自我の確立	自己理解を深める。	⇒	無視しないが関心を示す。 離れようしたらどんとかまえる(見守る)。 子どもを大切にする。 近づいてきたら受け入れる。 仕事や社会のことを語る。 子どもの関心を大事にする。 話を聞く。
	性的成熟を促す。	⇒	子どもの性を受け入れる。 性を話題にする。
社会性の基礎の確立	社会的スキルを伸ばす。	⇒	親がモデルを示す。 子どもを子ども扱いしない。
	友達に対する信頼感や絆を育む。	⇒	子どもの思い・不満を聴く。 子どもと一緒に考える。 本人が気がつかない友達のよさを伝える。
自主性の発達	やるべきことに進んで取り組む気持ちを育てる。	⇒	子どもに決めさせる。 親の思いは伝えるが子どもにまかせる。 できた時は認める。 子どもとしての責任がとれるようにする。
	やればできるという自信を育てる。	⇒	失敗しても責めない。 やり方を教える。 できたら認める。 やろうとした気持ちを認める。
自主性のめげ	仲間と群れて遊ぶ楽しさを育む。	⇒	親がモデルとなる。 地域の集まりと一緒に参加する。 親戚や知人の家に遊びに行く。 子どもを大切にする。
	やりたくなくてもやらなければならない気持ちを育てる。	⇒	できた時はほめる。 やり方を教える。 できそうなことから始める。
	自分らしく頑張る大切さを育てる。	⇒	手を出さずに見守る。 受容的に聴く。 失敗しても責めない。

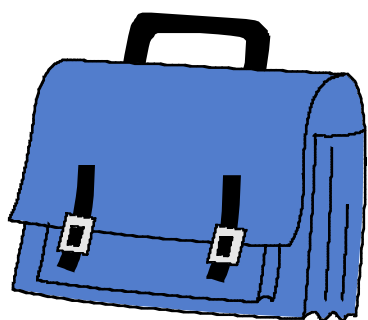
D テーマに迫るためのロールプレイの例

「 離れようしたらどんとかまえる（見守る）」の子育てのポイント（親のかかわり方）の場合

題名「帰宅した子どもとお母さん」 素直で明るいトモくんが学校から帰ってきました。ところが今日は何だかいつもと違う様子です。帰ってくるなり、カバンを放り投げ、いきなりマンガ本を読みだしました。「ただいま」のあいさつも言いません。おまけにスナック菓子を見つけて食べ始める。母親に何を言われても言うことを聞きません。

「 近づいてきたら受け入れる。」の子育てのポイント（親のかかわり方）の場合

題名「夕食後のヨシコさん」ヨシコさんは、帰宅後、少し元気がなかったようでしたが、夕飯をすませ、なんとなくテレビを見ていました。最近ヨシコさんは一人でお風呂に入るようになったので、お母さんは「早くお風呂に入ってきてなさい」と声をかけました。ところが、ヨシコさんは「お母さん今日一緒にお風呂に入ろう」と言いました。せっかく一人でお風呂に入れるようになったのに...、それに洗い物もたくさん残っているし...



E 子育て支援プログラム実践例

ねらい	分	活 動 (教 師 保 護 者)
開会の言葉 ・保護者のニーズに応えた懇談会を設定する学校方針に基づいて計画したことを確認する。	2	保護者会を学年合同で行うことにした理由を話す。 (総合教育センター教育相談Gの保護者参加体験型の「子育て支援セミナー」の活用)
オリエンテーション ・セミナーのねらいを確認する。	5	スタッフが自己紹介をする。 この研修会のねらいを説明する。 アンケート結果から今までやってきた子育てを認める。
ウォーミングアップ ・緊張をほぐす。 ・我が子への思いを振り返ることによって自己理解を深める。 ・今後の活動に生かす班と関係をつくる。 ・ワークのためのトレーニングをする。	15	自己紹介 自己紹介の仕方について、言葉による説明とともにスタッフが例を示す。 4人組を作り、子どもが使っていた玩具や思い出の写真を見ながら、これまでの子育てを話題にして自己紹介する。 表情読み取りゲーム 表情当読み取りゲームのやり方について、言葉による説明とともにスタッフが例を示す。 4人組の班で、ジャンケンをして順番を決め、1人がカードを1枚選び、カードに書いてある感情を表情や身振りで表現し、3人が答えを当てる「表情当てゲーム」をする。
ワーク「こんな時どうする？」 ・ロールプレイによって課題を外在化する。 ・子どもの行動や表情から思春期の子どもの内面を察知する目を養う。	30	実習1 題名「帰宅した子どもとお母さん」 場面1をスタッフがロールプレイで示す。 スタッフのロールプレイを見て、子どもの気持ちを考え、自分がこの子の母親がだったら、どうかかわったらよかったか、4人組で話し合う。 4人組で話し合った内容を班(南側の5つの班)の代表者が発表し、考えを分かち合う。 実習2 題名「夕食後のヒロシ君」 場面2を担当2人(2組と3組)がロールプレイで示す。 担任のロールプレイを見て、子どもの気持ちを考え、自分がこの子の母親だったら、どうかかわったらよかったか、4人組で話し合う。 確認した2つのポイントに基づいて考えてみるように促す。 4人組で話し合った内容を班(北側の5つの班)の代表者が口頭で発表するか、ロールプレイで演じるかして、考えを分かち合う。
家庭教育リーフレットの活用 ・これからの子どもへのかかわり方に意欲を持つ。	5	家庭用リーフレットを活用しながら、セミナーのまとめをする。 振り返り用紙に感想等を記入してもらおうよう話す。 振り返り用紙に、評価や感想を記入する。
閉会の言葉	3	

F セミナー受講後の保護者の感想 (こんな感想がありました)

参加して知らない人とおしゃべりして仲良くなれて良かった。他の家の子どもの様子も参考になった。またこのようなセミナーをもってもらいたい。演技楽しかったです。

いろんな方の意見が聞けて、本当に勉強になりました。ちょっとしたことで、いいので考え方をかえられたらと思います。

わかりやすい内容で楽しかったです。

親の心の安定って必要と思いました。参加して改めて自分の子どもへの接し方を振り返ることができました。

講義を聞くだけの一方的なセミナーではなく、見る、聞く、伝えるの体験型なので楽しく、他の方(グループ)の意見もわかりやすかったです。

いろいろなケースの場面を想定し、実習していくことはとても勉強になりますので、これからもよろしくお願いします。

頭でわかっていても行動でできない事がたくさんあると思います。ちょっと日常をふりかえって良かったです。今、上の子の事で悩んでいるので、ちょっとかかわり方を見直してみようかなと思いました。

かかわってほしいと思っている子供の気持ちにこたえてあげられなかった事があった場面がいくつも思い浮かんで反省させられました。セミナーに参加させていただいたことで気づくことができよかったです。離れようとしている時はどのように見守ってあげたらよいのか、くわしく教えていただけたらと思います。

今日はすばらしい機会をありがとうございました。自分の感情を親としてきちんとコントロールし、子供のサインを見逃さず、心を育てていってあげたいと思いました。ありがとうございました。

セミナーで離れた目で家庭をみることによって自分が子供の頃のことなども思い出させて興味深い時間を過ごせました。

日頃の子どもに対する自分の行動を振り返ってみる良い機会になりました。かっとする前に一呼吸おいて相手(子ども)の顔をゆっくり見てやりたいと思いました。

どんなことをするのかわからなく少し不安もありましたが、とても楽しく子育てのポイントも押さえられ、参加してよかったと思います。

今ではぼんやりとこうしたらいいのかなあと迷いながら考えていたことをわかりやすくポイントをしばって説明していただけたので良かったです。また、いろんなお母様方のお話を聞いたこととても有意義でした。